

はじめに

平素より、当事業団が実施しております各種の健診検査事業の実施にあたりましては、格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業団は、公益財団法人として「県民の疾病の予防や健康の保持増進、生活環境の保全を図るために予防医学活動を実施し、栃木県の公衆衛生の維持・向上に寄与する」という目的を実現するための事業を着実に推進しております。

平成27年度は、「健康長寿とちぎづくり推進条例」などを踏まえ、栃木県の施策と連携しながら県民の健康に関する意識の向上や健診受診率の向上に寄与する事業の一層の充実を図ってまいりました。

普及啓発事業につきましては、県民の結核予防、がん予防や生活習慣病予防の関心を高めるため、マスメディアを活用した広報活動を拡充するとともに、がんの正しい知識と受診率向上を目的とした「がん検診啓発セミナー」を開催したほか、各種イベントに参画し、県民の健康に関する意識向上に寄与する事業を推進いたしました。

健診・検査事業における住民健診につきましては、平成24年度からモデル事業として開始した「子宮頸がんHPV-DNA併用検診」が4年目を迎えたことから検査対象者が増加したことや、事業団独自で開発した「インターネット予約サイト」を活用するなど、受診者の利便性の向上を図った結果、受診者数は前年度実績を上回ることができました。また、事業所につきましては、平成27年12月1日から施行された労働安全衛生法の改正によるストレスチェックの義務化に伴い、メンタルヘルス支援事業の体制整備やシステム構築など、平成28年度からの本格実施に向けての準備を整えました。

平成28年度は、当事業団設立40周年の節目を迎える年であり、これまで以上に高い公益性の発揮と地域貢献が期待されております。今後も健診・検査データに基づく調査・研究を行い、学会発表等を通して広く情報を発信し、行政や受診団体の健康づくり事業等の施策立案に貢献するとともに、より高度で精度の高い健診検査事業を着実に推進し、県民の健康保持増進に貢献してまいりますので、引き続き御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、このたび、「平成27年度事業年報」として当事業団の事業内容や実績等をまとめましたので、皆様の保健活動等の一助として御活用いただければ幸いです。

平成29年2月

公益財団法人栃木県保健衛生事業団
理事長 植木 恵 二